



岩手県立盛岡第三高等学校
2年次
令和8年8月24日(月)発行

盛岡三高キャラクター「トナン君」「ユメちゃん」



充実した夏休みを過ごせましたか？

24 日間の夏休みが終わりました。三者面談後は進路目標がさらに明確になり、より一層勉強に励んだ人もいるのではないのでしょうか？また、部活動や大学オープンキャンパス参加、探究活動のフィールドワーク等、みなさん一人ひとりが「今やるべきこと」に集中できた夏となっていれば嬉しいです。ぜひ、夏休みの話を聞かせてくださいね。

【今号のトピック】

1. 前期末考查日程 2. 前期末考查出題範囲 3. 東北大学・東京大学入試研究からみる日頃の学習

省略

1 前期末考查 日程

省略

(参考) 今後の主な予定

8月28日(金)～29日(土) 三高祭

9月7日(月)～11日(金) 前期末考查 ※9日(水)代休

9月18日(金) 2年次PTA

9月28日(月) 学校休業日



東北大学現役合格へのロードマップ: 高2の今、踏み出すべき一歩



【覚悟と目標】「なんとなく」から「本気」の志望へ



**「研究第一」の姿勢に
応える主体的な学び**
単なる知識の暗記ではなく、
未知の課題に対し論理的に
考察する力が必要です。



**二次試験(記述)を
見据えた基礎固め**
共通テストの8割は高1・2の範囲。
今の授業を完璧にすることが
合格への最短ルートです。

★最近のながれ★

- ・東京の理系生の志望…①東京、②東京科学、③??? ←ここに東北大を選びがち。そして、東京勢に押し出された地元勢は山形大へ。文系は早稲田・慶應があるので、この流れは強くはない模様。
- ・東北大 共通テスト得点率ボーダー 文系 75%、理系 80%
- ・東北大二次試験に必要な学力
【文系】文・教育…英語 法・経済…数学
【理系】数学(なぜ? ↓ ↓)
 - ・東北大は研究者を育てたいので、パターンに当てはめた勉強は通用しない。“考える”ことができるか。
 - ・解答は考察過程をきちんと書くこと。雑な文字は採点の対象外。

【戦略と実践】合否を分ける学習と習慣

合否を分ける 「重点単元」の戦略的攻略

文系数学
(数列・微積)

理系理科
(有機化学)

英語のバラグラフリー
ディングに集中。

メタ認知力と 「成果のズレ」の理解

客観視

高3秋以降
粘り強く
計画を遂行

自分の状況を客観視し、高3秋以降に現れる成績向上まで粘り強く計画を遂行する。

今すぐ実行すべき 合格サイクル

- ✓ 模試の原因分析
- ✓ 隙間時間の死守
- ✓ 高1・2範囲の基礎定着をチェックリストで管理。

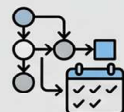
代ゼミ・東大入試研究会 直伝：各教科の「一生モノの学習法」



数学 計算力と可視化

計算力こそ「最強の武器」
途中で計算を止めず、最後まで正確に解き切る習慣を徹底しましょう。計算ミスは「実力不足」と捉えるべきです。

**図解とグラフで
思考を「可視化」する**
複雑な状況設定に直面した時こそ、図やグラフを自分で描くことで、問題の構造を整理し解決への糸口を見つけ出します。



英語 単純化と継続

**難解な日本語を
「単純化(パラフレーズ)」**
日本語のニュアンスをそのまま訳そうとせず、自分が知っている易しい英語で表現できるよう、内容の核心を突いた言い換えを練習しましょう。

**毎日のリスニングを
「当たり前」の習慣に**
リスニング力は短期間では向上しません。毎日継続して英語の音に触れることで、脳を英語のスピードに順応させます。



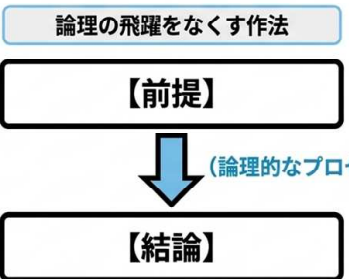
国語 凝縮と共通ベース

**余計な記述を削ぎ落とし、
情報を「凝縮」させる**
指定された文字数の8割程度で内容をまとめ、枝葉を切り捨てて「本当に伝えたいこと」を研ぎ澄ませる訓練が必要です。

**複数の模範解答を比較し
「共通のベース」を探る**
一つの解答を盲信するのではなく、複数の解答を突き合わせることで、採点者が求めている「最低限必要な要素」を客観的に見極めます。

全体共通：得点力を極める「答案作成」と「自己分析」

答案作成 - Output 第三者に「説明する」



答えだけを出すのではなく、解答に至るまでのプロセスを論理的に記述し、誰が読んでも納得できる構成を心がけます。

自己分析 - Feedback ミスの原因を「峻別する」

	凡ミス (不注意)	思考ミス (理解不足)
成長を加速させるエラー分析		
特徴	単なる不注意 (分かっていたのに間違えた)	根本的な知識・理解が足りない
対策	確認作業の ルール化	基礎に立ち返り、 再学習

ミスの種類を冷静に分析し、それぞれの原因に合わせた対策を講じることが成長への最短ルート(合格の作法)です。

【高卒生へのアンケートから「高1～3年生のときの反省点」】

- ・覚えておかないといけなかったものを、低学年でやっておくべきだった。
- ・時間が無くて、とりあえず過去問ばかりやった。たまたまできた問題があるとそれで行ける気になっていた。他にも…
- × クラブで忙しかったので、勉強時間が取れなかった。
- クラブが忙しいことを理由に、勉強時間を取らなかった。
- × 効率的な時間の使い方ができなかった。
- 授業の予復習、模試の復習ができなかった。それをした上で、優先順位をつけた学習をするべきだった。

(どれも耳の痛い話ばかりですが…)
自身の行動に対して反省点を挙げられる生徒は、まだ伸びる傾向にあります。大切なのは、自己分析と言語化を意識すること。そして「継続した学習習慣」と「苦手科目を作らない学習」です。